

和光市国際化推進懇話会中間報告（案）

提出日：平成19年3月〇日
和光市国際化推進懇話会
会長 田中 明

平成18年3月に「和光市国際化推進計画」が改定され、国際化推進の方向性がより明確に示された。当懇話会においては、任期における議題として「1 国際化推進のための施策の内容について」と「2 市民海外派遣事業実施について」が事務局より提示されたが、平成18年度においては「1 国際化推進のための施策の内容について」、「改定後の計画に沿った内容で、かつ財政的な負担を伴わない新たな事業等について」の提案を求められた。

はじめに

和光市において、全人口（75,165人）に占める外国籍市民（1,331人）の割合は1.7%程度（平成19年1月1日現在）で、年々増加傾向にあるとはいえ、外国人比率が高いとされる他市町村と比較すると、この1.7%は決して大きくない数字である。そのため、現在取り組んでいる施策等については、1.7%の外国籍市民等に対応できている状況であるが、今後、更に外国人が増加した場合、現在の対応方法では不備が生じてしまうのではないかと考える。外国籍市民が同じ市民として等しいサービスを受けることができるよう、現段階から、様々な取り組みを体系立てて整備していく必要がある。

そのために必要なこととして、

・外国籍市民と日本人市民の両方に対して、市の取り組み状況や生活情報の提供など「積極的な広報活動」

⇒「1 国際化推進のPR方法」

・国際化担当課の明確化

⇒「2 担当課の設置について」

・和光市国際化の将来を担うであろう「和光市国際ネットワーク」の機能充実

⇒「3 和光市国際ネットワークの充実について」

の3点が挙げられる。この3点について、具体的な施策内容について以下のとおり提案する。

1 国際化推進のPR方法について

国際化推進のPRは、対外国籍市民等と対日本人の2方向へ向けられるべきである。

まず、外国人の場合、日本において、言葉や生活習慣などの違いによる“不便さ”は容易に想像することができる。それを支援するための情報提供が必要であると考え、外国籍市民等に対し、様々な情報を多様な媒体によって提供することで、より多くの人々が情報を得ることができる。情報を提供することにより、行政や各団体の取り組みのPRにもなる。

また、外国籍市民等が暮らしやすい生活を送るために欠かせないのは、周囲(日本人)の理解である。外国人に対する日本人の理解を得るためには、幼少期から、それぞれのステージにおける国際理解教育が有効である。加えて、多くの市民が目にする広報やホームページを活用することで、日本人に対するPRとなる。

この状況を踏まえ、当懇話会として、市が今後取り組むべき「1 国際化推進のPR方法」の具体案を以下のように示したい。

・情報提供のための外国人登録制度の整備の検討

多様な生活スタイルをもった多くの人に、等しく情報を提供することは極めて難しい。外国籍市民へ情報提供のための登録制度があれば、登録者に対して情報を等しく提供することができ、利用者も情報の取捨選択が容易にできるようになる。これからの前向きな検討を願いたい。

・国際理解教育の更なる充実

学校教育として各学校での取り組み、生涯学習として各公民館等での取り組みを更に充実させる。

・広報わこうに「国際化推進のページ」を新設する

広報わこうにおいて、「国際化推進のページ」を新設し、各種イベントや外国籍市民の意見欄を設け、わかりやすい日本語（ルビつき）で書く。

2 担当課の設置について

現在、国際化推進に関する業務は人権文化課文化担当が担っているが、「国際」の文字は一つもなく、市民にとって非常に分かりにくい状況である。外国人に対しても、もちろん日本人に対しても「わかりやすさ」は重要であり、市の国際化推進の取り組み体制のPRにもなる。

以上のことより、当懇話会として、「担当課の設置について」以下のような具体案を提示したい。

・現行の人権文化課を「人権文化・国際化推進課」に変更する

3 和光市国際ネットワークの充実について

和光市国際ネットワーク（以下「ネットワーク」）は、国際化推進に関係する団体の活動状況や情報を常に共有し、相互に協力・支援できるように設立されたものであるが、現在はその活動が「市民まつり」への出展とそれに伴う準備・反省に終始しており、十分に機能していないという印象を受けざるを得ない。この状況は以前からも指摘されていたと聞いている。状況改善のために、市のホームページ上での情報交換を平成18年4月頃より開始したようだが、掲載情報の提供をネットワーク会員任せにしているために、充実しないのではないか。

そこで、市がネットワーク会員をまとめる形で、事務局として主導することで、活動の活発化、自立した活動が実現できると考えた。

以上のことより、当懇話会として、「和光市国際ネットワークの充実について」以下のような具体案を提示したい。

・情報の共有の強化

事務局が一月に一回程度、各団体に情報提供を依頼し、「情報の共有」を定着させる。

また、市ホームページのトップページに、和光市国際ネットワークのページへ直接行けるようにアイコンを置く（わかりやすいものにする）と、初めてホームページを訪れた人や、一般の人の目に触れやすく、和光市国際ネットワークのPRにもなる。